

STAGE+を楽しむ(346)(HP 収載)
ーヴェルビエ音楽祭のショスタコーヴィチー

1. 始めに

前報(345)に引き続き、STAGE+のヴェルビエ音楽祭 2025 のショスタコーヴィチの演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、前報(345)に引き続きヴェルビエ音楽祭 2025 のショスタコーヴィチの演奏を選びました。

キーシン、アルゲリッチ、マイスキーがショスタコーヴィチ作品を披露
ヴェルビエ音楽祭 (2025 年)

収録日: 2025 年 7 月 29 日

2025 年のヴェルビエ音楽祭から、ショスタコーヴィチ没後 50 年を記念する演奏会の模様をお届けします。エフゲニー・キーシンが中心となり、マルタ・アルゲリッチ、ミッシェ・マイスキー、アントワン・タメスティ、エベヌ弦楽四重奏団が加わった豪華アーティストの共演が実現。チェロ・ソナタ、ピアノ五重奏曲、2 台のピアノのためのコンチェルティーノ、そして彼が完成させた最後の作品ヴィオラ・ソナタが披露されます。親密な響きや個人的な苦悩、深い精神性など、ショスタコーヴィチの多面性を改めて感じていただけることでしょう。

ソリスト:

エフゲニー・キーシン (ピアノ)、ミッシェ・マイスキー (チェロ)、マルタ・アルゲリッチ (ピアノ)、アントワン・タメスティ (ヴィオラ)

演奏:

エベヌ弦楽四重奏団

曲目:

ドミトリ・ショスタコーヴィチ チェロ・ソナタニ短調 op. 40

ミッシェ・マイスキー(チェロ), エフゲニー・キーシン(ピアノ)

ドミトリ・ショスタコーヴィチ ピアノ五重奏曲ト短調 Op. 57

エフゲニー・キーシン(ピアノ), エベヌ弦楽四重奏団

ドミトリ・ショスタコーヴィチ

2 台のピアノのためのコンチェルティーノ イ短調 op. 94

マルタ・アルゲリッチ(ピアノ), エフゲニー・キーシン(ピアノ)

ドミトリ・ショスタコーヴィチ ヴィオラ・ソナタ op. 147

アントワン・タメスティ(ヴィオラ), エフゲニー・キーシン(ピアノ)



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への **Crystal EpY-G** の接続を継続し、PC の仮想アース **Crystal E Jtune** を連結しています。

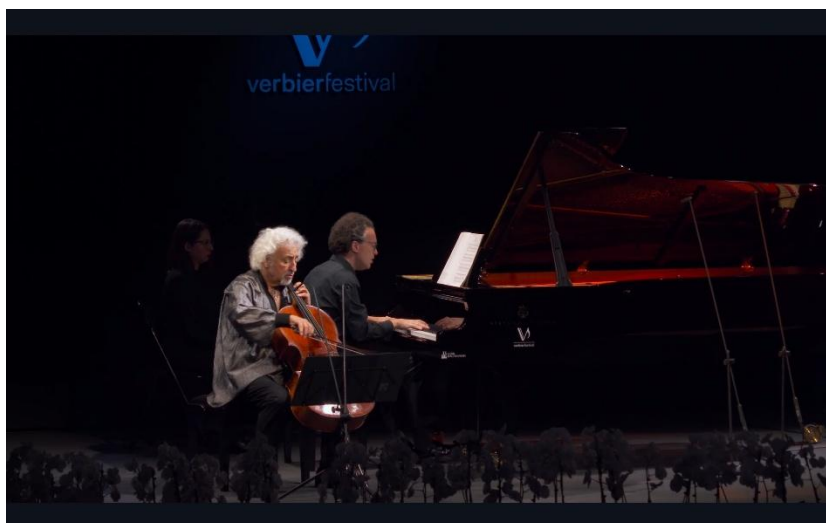
また、ルーター→スイッチングハブ間の LAN 接続に **OPT ISO BOX** を適用し、**OPT ISO BOX** の AC アダプターの DC ケーブルに **FX Audio** の **Petit Susie Solid State** を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。

今回、スイッチングハブ→PC 間 LAN 接続は、LAN **iPurifier Pro** の交換後に元に戻しています。

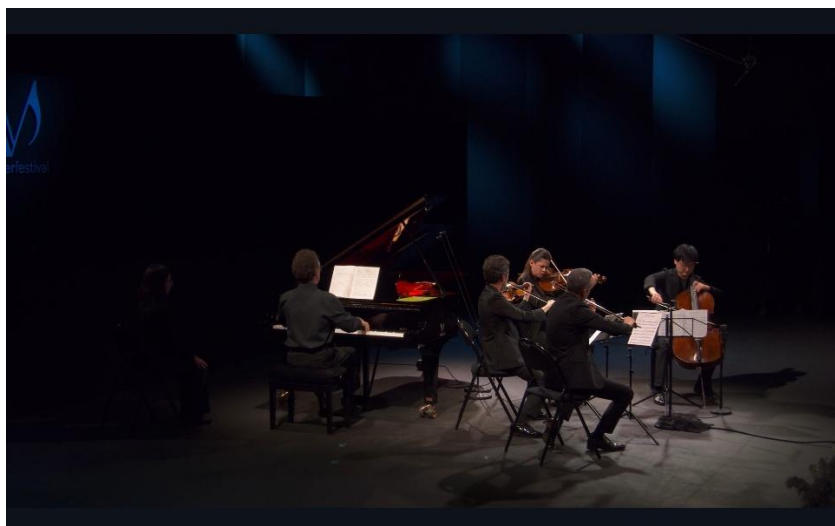
今回は、PC の受信からクロック入力 of 修理済の **Brooklyn DAC+** に送り出しています。また、PC と **Brooklyn DAC+** の間の介在は、**iPurifier USB** からインフラノイズの **USB** アキュライザーに交換しています。クロック入力 is **ABS-7777** を適用しています。

ヴェリビエ音楽祭でのショスタコーヴィチの室内楽の演奏で、いずれも初めて聴くものばかりです。

チェロ・ソナタニ短調は、マイルスキーのチェロとキーシンのピアノのデュオです。よく聴くチェロ・ソナタと違って緊張感あふれる展開で、マイルスキーの技巧的な演奏が聴けます。



ピアノ五重奏曲ト短調は、エベータ弦楽四重奏団にキーシンのピアノが加わり、内省的な表情が展開していきます。」



ショスタコーヴィチの2台のピアノのためのコンチェルティーノ イ短調は、アルゲリッチとキーシンのピアノのデュオです。2台のピアノによる重量感ある演奏です。



ヴィオラ・ソナタは、タメスティのヴィオラとキーシンのピアノのデュオです。タメスティのヴィオラのピチカートやスターカットや強奏にキーシンのピアノが合わせていくという展開で不思議な感覚の曲です。



以上は、あまり聴く機会のないショスタコーヴィチの室内楽の演奏ですが、最新の収録で音質はよくライブの緊張感が伝わってきました。特にヴィオラ・ソナタは、珍しい演目ですが、タメスティの弾くヴィオラの生々しい質感が伝わってきました。

4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX と電源交換した

LAN iPurifier Pro を適用し、ABS-7777 からのクロック入力の Brooklyn DAC+に送り出し、PC と Brooklyn DAC+の間には USB アキュライザーに交換した結果、あまり聴く機会のないショスタコーヴィチの室内楽の演奏の緊張感漂うライブ感が伝わってきました。

以上